

昨年は、戸別訪問や戸別相談会開催にご協力いただきありがとうございました。

本年も、美作岡山道路の建設推進にご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、本号では、今月27日に開通する美作岡山道路「勝央IC～勝央JCT間」についてお知らせするとともに、美作岡山道路の整備効果の一例を紹介いたします。

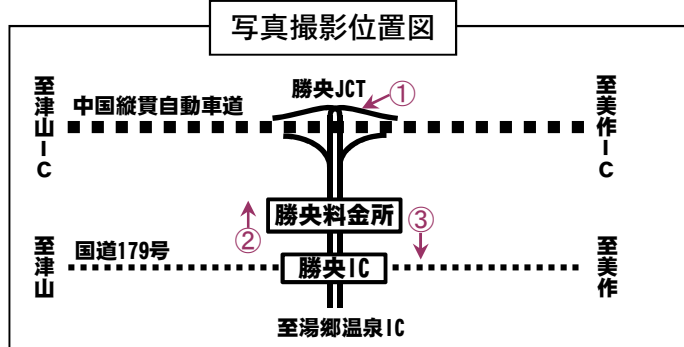
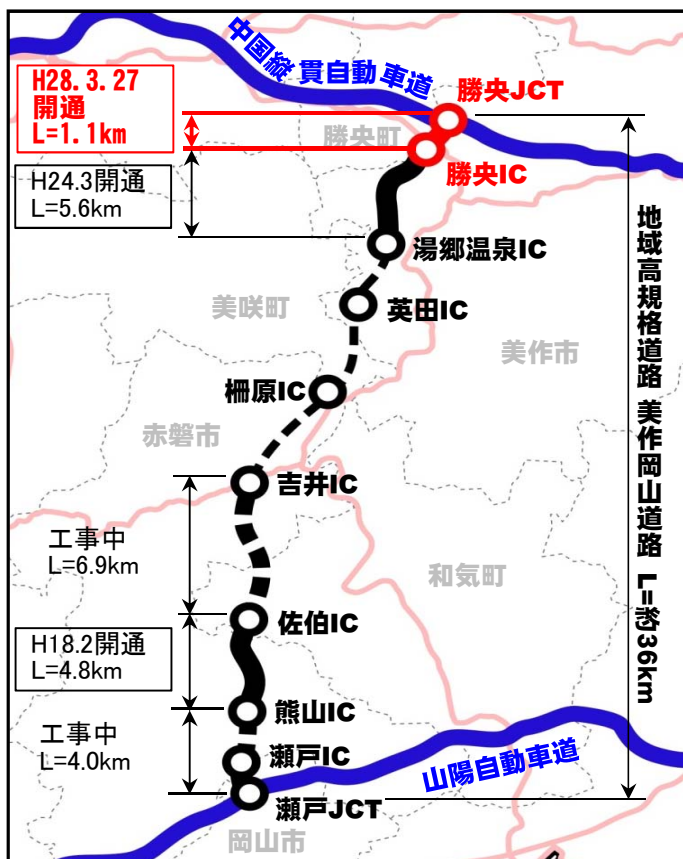
また、県と町の美作岡山道路の整備についての考えを『「高規格道路をみんなで考える会」提出の公開質問状に対する県及び町の回答書』（別添）にて改めてお伝えいたします。



中国道へ接続！ 美作岡山道路「勝央IC～勝央JCT間」が開通します！

勝央IC～勝央JCT間（約1.1km）は、平成19年度に事業着手し、今月27日に開通します。

本区間の開通により、美作岡山道路がいよいよ中国縦貫自動車道と接続することとなり、沿線地域の振興・活性化や周辺道路の渋滞緩和が期待されます。飯岡地区からも、湯郷温泉ICからの乗り入れにより中国縦貫自動車道への交通アクセスがより便利になります。

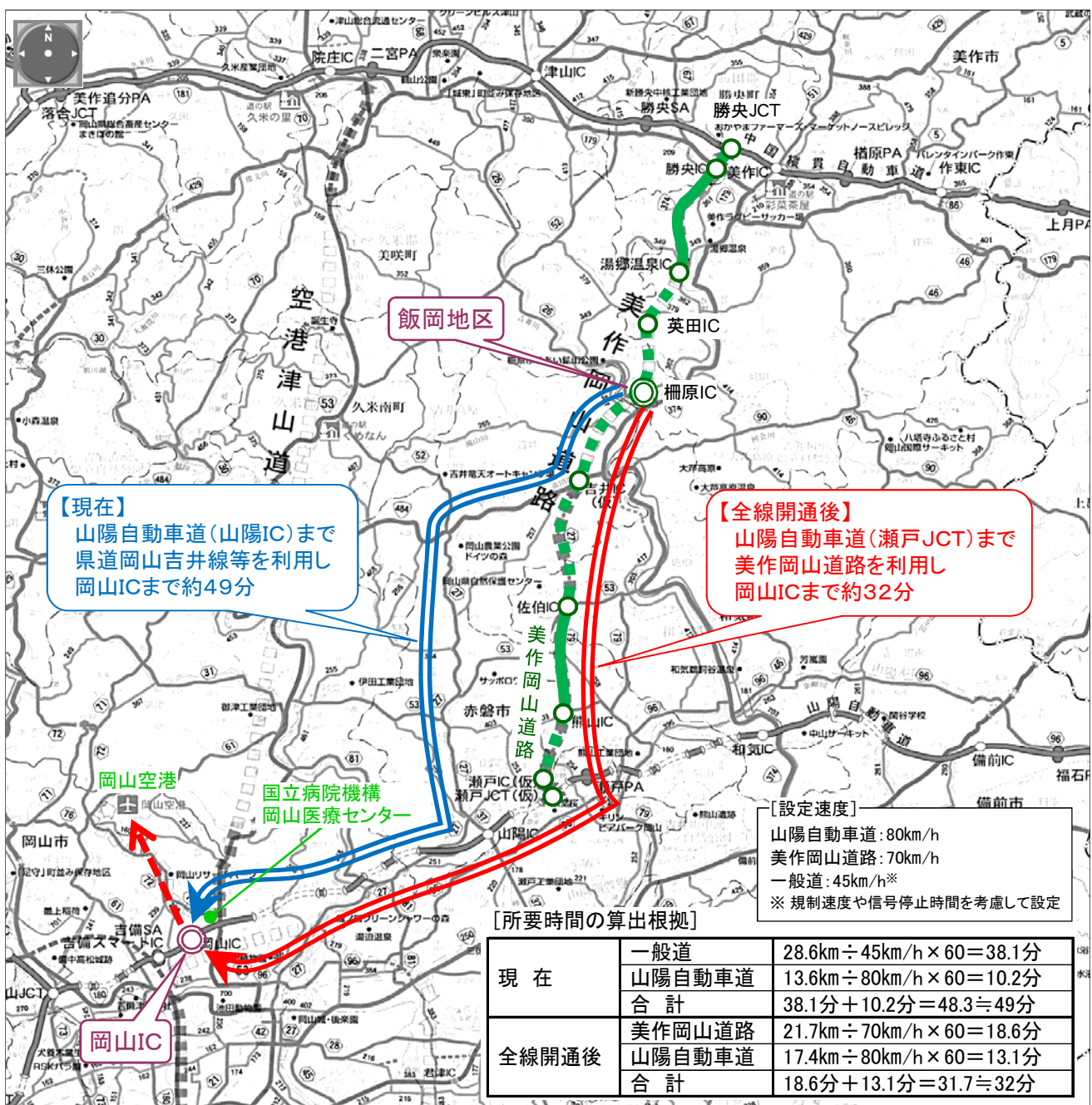


～ 美作岡山道路は交通利便性の向上に大きく寄与します ～



美作岡山道路は、飯岡地区をはじめ、広く県民の皆様方の暮らしやすい地域づくりを支えるインフラとして、交通利便性の向上に大きく寄与します。それでは、具体的にどのような効果があるのかを、皆様方にわかりやすくイメージいただくため、その一例を以下にお示します。

- ▶ 例えば、飯岡地区から岡山ICまでを、山陽ICから高速道路（山陽自動車道）を利用して行く場合、現在は約49分かかります。
- ▶ 美作岡山道路の全線が開通した後は、飯岡地区から岡山ICまで約32分で行けるようになり、約17分（概ね3分の1）の時間短縮効果が期待できます。
- ☆ 上記所要時間の算出根拠（速度や距離など）は下図のとおりです。
- ▶ これにより、岡山IC下車後最寄りにある「国立病院機構岡山医療センター」や、少し先にある「岡山空港」などへの交通アクセスがとても便利になります。



「承認番号 平25中使 第2号」

※ 県と町の美作岡山道路の整備についての考えを『「高規格道路をみんなで考える会」の公開質問状に対する県及び町の回答書』（以下）にて改めてお伝えいたします。

平成27年12月24日

飯岡上・飯岡下地区の皆様方へ

岡山県美作県民局
美咲町柵原総合支所

「高規格道路をみんなで考える会」提出の公開質問状に対する
県及び町の回答書の配布について

平素より、県及び町の行政推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、美作岡山道路につきましては、「高規格道路をみんなで考える会」より、平成27年9月18日に県へ、平成27年10月1日に町へ公開質問状が提出され、先日、別添のとおり回答しております。

この回答は、県及び町の美作岡山道路の整備についての考え方をお示したものであり、皆様方にもお伝えしたいと考え、配布させていただきます。

なお、ご不明な点等がございましたら、下記のお問い合わせ先にご連絡をお願いいたします。

今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<お問い合わせ先>

岡山県 美作県民局（勝英地域事務所）美作岡山間道路建設班 TEL 0868-73-4066

美咲町 柵原総合支所 産業建設課 TEL 0868-62-1116

平成27年12月18日

高規格道路をみんなで考える会
会長 延原 悟 様

岡山県美作県民局
勝英地域建設部長

公開質問状に対する回答書

平素より、岡山県行政の推進にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。

平成27年9月18日に岡山県知事あてに提出された公開質問状に対し、以下のとおり回答します。

美作岡山道路は、美作圏域と県南都市圏の交流促進や美咲町など沿線地域の活性化のために必要不可欠な道路で、県の重点目標として早期開通に向けて建設を推進しているところであり、貴会におかれましては、今回の回答に是非ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、この回答のうち、美咲町に関する部分は美咲町に確認いただいております。

記

質問1 道路建設により、内水災害の危険性が高まり、1日200mmの降雨量で約40～50戸の床上浸水が想定される（国土問題研究会研究資料）にもかかわらず、災害の危険性が増す道路建設が必要とお考えになるか。

回答1 貴会から提出された国土問題研究会資料でも指摘されているように、美作岡山道路の建設により湛水機能を有する低地の農地等の面積（湛水ボリューム）が減るということは、県としても十分理解しております。

そのため、道路建設にあたっては、農地等の面積が減り浸水深が増加することに対して、その相当分を見込んだポンプを設置するよう考えています。

なお、美咲町において、従来から内水排除対策を検討してきており、ポンプの設置にあたっては、内水による浸水を現況より軽減するよう県と町で連携して取り組んでまいります。

ポンプの設置については、正確な測量を行って地形の詳細を把握した上で、地域の方々と協議しながら道路構造を決定していく中で具体的な計画を検討したいと考えております。

質問2 道路建設により、125戸の内29戸が移転対象となり集落機能の弱体化が想定される。

地域活性化、集落機能の維持を県政策目標として掲げているにもかかわらず、集落機能を弱体化させる道路建設が必要とお考えになるか。

回答2 集落機能の維持についてですが、家屋移転をお願いする方はもちろん、集落にお住まいの方にも、道路建設によりご心配をおかけすることは十分理解しております。

家屋移転をお願いする方に対しては、生活再建が必須であると考えており、移転手続きの流れ等についてわかりやすく情報提供を行うとともに、ご意向を十分にお聞きしながら、地域内への移転も含め、美咲町と連携して取り組んでまいります。

さらに、県として最適と考えるルートによる道路建設が地域コミュニティに与える影響については、既に説明会等でお示したように、環境への影響をチェックした上で、一部高架構造に変更することも可能と考えています。

また、美咲町による道路やインターチェンジを活かした地域振興策に対しては、県も可能な協力を行ってまいります。

質問 3 平成15年6月に県から町にルート提示はあったものの、地区住民には一切打診も話し合いもなく、平成25年6月に一方的に道路建設が発表された。

住民との話し合いでお互いに納得する安全で安心なルート設定をしようというお考えはないか。

回答 3 美咲町（旧柵原町）内のルートについては、平成15年に飯岡地区の平地部にインターチェンジを設置する計画とし、吉井川の流水の阻害、トンネル出入部の通行の安全性、事業費等を勘案し、町の意見も聴取した上で県としての最適ルートを選定し、平成15年6月には町にルート案を示し、町議会でも議論が行われ、その時点で県としては、ルートについて環境影響評価手続きを残し確定したものと考えております。

その後、当時既に事業に着手していた区間の工事が進捗し、美咲町内も含め未着手区間の建設に向けて本格的に動き出す時期となったことから、平成24年2月、環境影響評価の実施計画書の縦覧時に、町の広報誌により上記のルートを中心とした環境影響評価のためのルート帯を公表し、平成25年6月には地域住民に対する説明会を開催したところです。

ルート設定の際の住民との話し合いが十分でないというご意見ではありますが、インターチェンジ設置を前提とした場合、現ルート案が最適ルートと考えております。

なお、地区からルートの合意を得た後は、道路構造、内水対策、家屋等の移転、さらには美咲町が主体の地域振興策等、個々の具体的な内容につきましては、測量設計を行っていく中で、地域住民の方々と十分協議してまいります。

質問 4 地区住民が10月3日から話し合いをしようとしているにもかかわらず、「県が戸別訪問をして住民理解を求める」ということが、9月6日の県説明会で一方的に話された。

もう少し時間をかけて、お互いが協力し合える環境作りに努力されるお考えはないか。

回答 4 これまでに、説明会の開催や資料の配布によって、県と町の考えや取組を広く知っていただくよう説明してまいりましたが、説明会に来られていない方を含め、さらに丁寧に説明し、お一人お一人の意見を聞く機会を持つため、各戸を訪問しております。

道路が完成するまでには、測量や設計などの多くの段階で、地権者をはじめ地区の方々と協議や調整が必要であり、地区の方々と協力し合える環境づくりは大切だと考えております。今後とも県の考えをご理解いただけるよう努めてまいりたいと存じます。

平成27年12月18日

高規格道路をみんなで考える会
会長 延原 悟 様

美 咲 町

公開質問状に対する回答書

平素より、町行政の推進にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。
平成27年10月 1日美咲町長あてに提出された公開質問状に対しまして、下記のとおり回答
します。

記

質問① 道路建設により、内水災害の危険性が高まり、1日200mmの降雨量で約40
～50戸の床上浸水が想定されるにもかかわらず、災害の危険性が増す道路建設が
必要とお考えになりますか。

回答① 町の基本姿勢でお伝えしているとおり岡山県の提示している第2ルートで早期完
成するよう今後も協力していきます。
内水対策につきましては、以前から地元自治会長より要望があり、町としまし
ても対応を検討しております。
美作岡山道路建設により遊水機能を持っている農地が減ることにつきましては、
説明会でもお伝えしているとおり、岡山県と連携しポンプの設置により対応してま
いります。

質問② 内水対策であるポンプの設置は農水省事業の場合、農地のみが対策対象になると
思いますが、美咲町としてのお考えは。

質問③ 宅地浸水対策を行わなければならない場合、美咲町の対応は。

回答②③ 内水対策は浸水被害から農地を守るためにおこなうものですが、低地である農地
の内水を排除することにより宅地への浸水を防ぐことに繋がると考えております。

質問④ ポンプの維持運営の対応は。

回答④ ポンプの維持管理につきましては、町で責任を持って対応してまいります。

質問⑤ 災害時における、避難対応は。

回答⑤ 危険な状況になる前にまず住民一人ひとりが避難することが大切であることはも
ちろん、自主防災組織等により地域の安全を地域で守っていくことも重要であると
考えます。

町としては、告知放送や防災無線を利用し、早期に地域住民の方へ防災情報をお
知らせするなど、避難に役立てていただける取組に努めてまいります。